BR-TTS Neural Network Edition 商用版

ユーザーマニュアル

インストールから音声の作成まで

バージョン 1.0

2026 年 10 月

ビー・アール・システムズ株式会社

目次

1. はじめに
2. 動作環境
3. インストールの前に
4. インストール
5. 起動と終了
6. 画面の説明
7. 音声を作る
8. ログと監査ログ
9. 辞書の更新・アップデート・アンインストール
10. 困ったときは
11. 使用許諾契約・お問い合わせ

1. はじめに

1.1 本ソフトについて

BR-TTS Neural Network Edition 商用版（以下「本ソフト」）は、入力した日本語の文章を、**参照音声（お手本にする人の声の録音）の声で読み上げた音声ファイル（WAV）を作成する**ソフトウェアです。

- **インターネットに接続せずに動作します。** 入力した文章や音声が外部に送信されることはありません。
- 数字の読み方や誤読しやすい言葉は、当社の辞書で自動的に修正してから読み上げます。
- 作成した音声の記録（監査ログ）を自動で残します。

1.2 ご利用の流れ

初めてお使いになるときは、次の順に進めてください。

順番	作業	このマニュアルの章	目安の時間
1	動作環境の確認	2 章	5 分
2	インストールの準備（スマートアプリコントロールの確認など）	3 章	5 分
3	インストール	4 章	5〜10 分
4	起動して音声を作る	5〜7 章	—

> **参照音声の利用について（重要）**
> 本ソフトは、参照音声の声によく似た音声を作成できます。**参照音声には、話者ご本人の同意を得ている、または利用する権利がある音声のみ**をお使いください。
> 他人の声を無断で使用して作成した音声は、肖像権・パブリシティ権の侵害や、なりすましなどの不正利用につながるおそれがあります。

2. 動作環境

項目	必要な環境
OS	Windows 11 / Windows 10（64bit 版）
メモリ（RAM）	**16GB 以上** 本ソフトだけで最大 約 8.5GB を使用します。8GB のパソコンでは実用的に動作しません。
GPU（グラフィックス）	**NVIDIA 製の GPU を推奨**（GPU のメモリ 6GB 以上、余裕を持つなら 8GB 以上） NVIDIA 製の GPU が無いパソコンでも、CPU で動作します（音声の作成に時間がかかります）。
ディスクの空き容量	約 16GB（インストール後の使用量は 約 14.5GB）
インターネット接続	不要（インストール・起動・音声の作成のすべてをオフラインで行えます）
その他	音声を確認するためのスピーカーまたはヘッドホン

GPU についての注意

GPU で高速に動くのは NVIDIA の GPU のみです。AMD・Intel の GPU のパソコンでは CPU で動作します。

NVIDIA の GPU を使う場合は、NVIDIA のドライバを最新版に更新してください。

NVIDIA の GPU があるパソコンでは、GPU のメモリが不足していても CPU には切り替わりません。GPU のメモリが 6GB 未満の場合は、音声の作成時にエラーになることがあります。

お使いのパソコンのメモリ（RAM）の量は、「設定」→「システム」→「バージョン情報」の「実装 RAM」で確認できます。

3. インストールの前に

3.1 インストーラーのファイルを確認する

本ソフトのインストーラーは、モデル（音声合成の学習データ）を含むため、**合計 約 13GB・8 個のファイル**に分かれています。

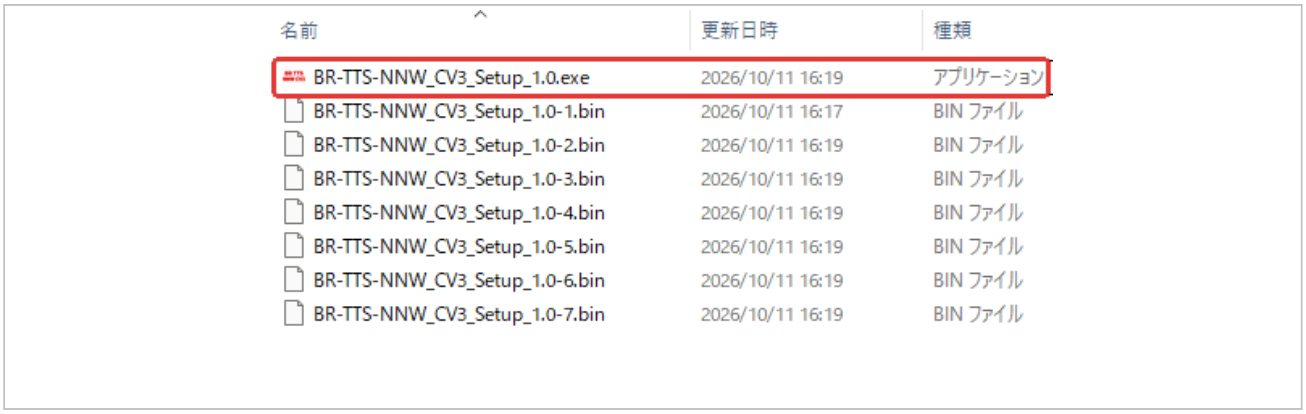


図 1　インストーラーのファイル（赤枠のファイルを実行します）

- BR-TTS-NNW_CV3_Setup_1.0.exe（インストーラー本体）と、-1.bin 〜 -7.bin の **8 個すべてが同じフォルダにあること**を確認してください。1 つでも欠けているとインストールできません。
- **ファイルが大きい（合計 約 13GB）ため、ダウンロードとインストールに時間がかかります。**ダウンロードは通信環境によって数十分〜数時間、インストールは 3〜10 分程度が目安です。時間に余裕のあるときに行ってください。
- ダウンロードの途中でパソコンがスリープ（休止）すると、ダウンロードが中断することがあります。必要に応じて電源の設定を確認してください。

3.2 スマートアプリコントロールを確認する（Windows 11 のみ）

Windows 11 には、発行元の確認できないアプリを自動的にブロックする「スマートアプリコントロール」という機能があります。この機能が **「オン」になっていると、本ソフトのインストーラーがブロックされ、インストールできません。**インストールの前に、次の手順で設定を確認してください（Windows 10 には、この機能はありません）。

スマートアプリコントロールが「オン」のままインストーラーを実行すると、次のような画面が表示されます。この画面が表示された場合は「OK」で閉じ、次の手順で「オフ」にしてから、もう一度インストーラーを実行してください。

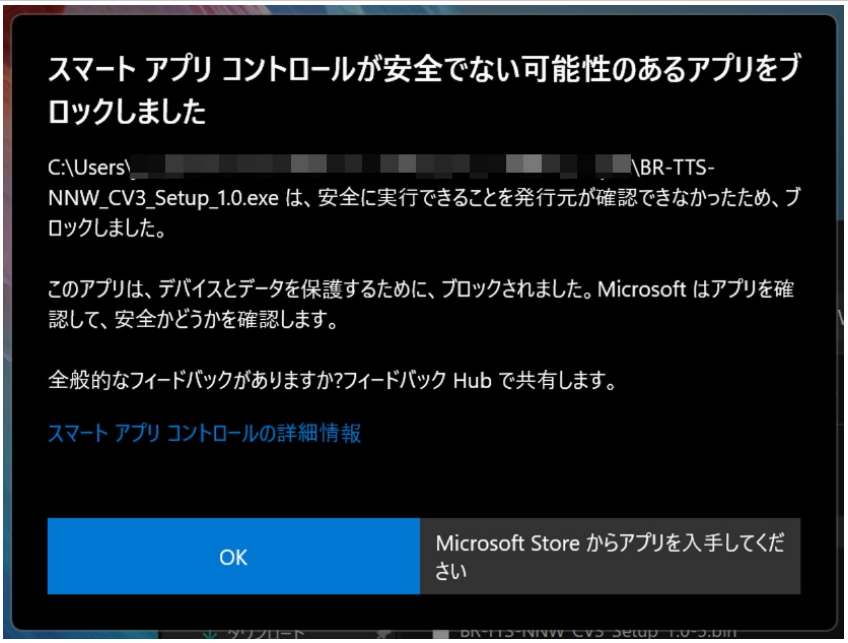


図 2　スマートアプリコントロールでブロックされたときの画面

1. スタートボタンを右クリックし、「設定」を開きます。
2. 左側の「プライバシーとセキュリティ」を選び、「Windows セキュリティ」をクリックします。

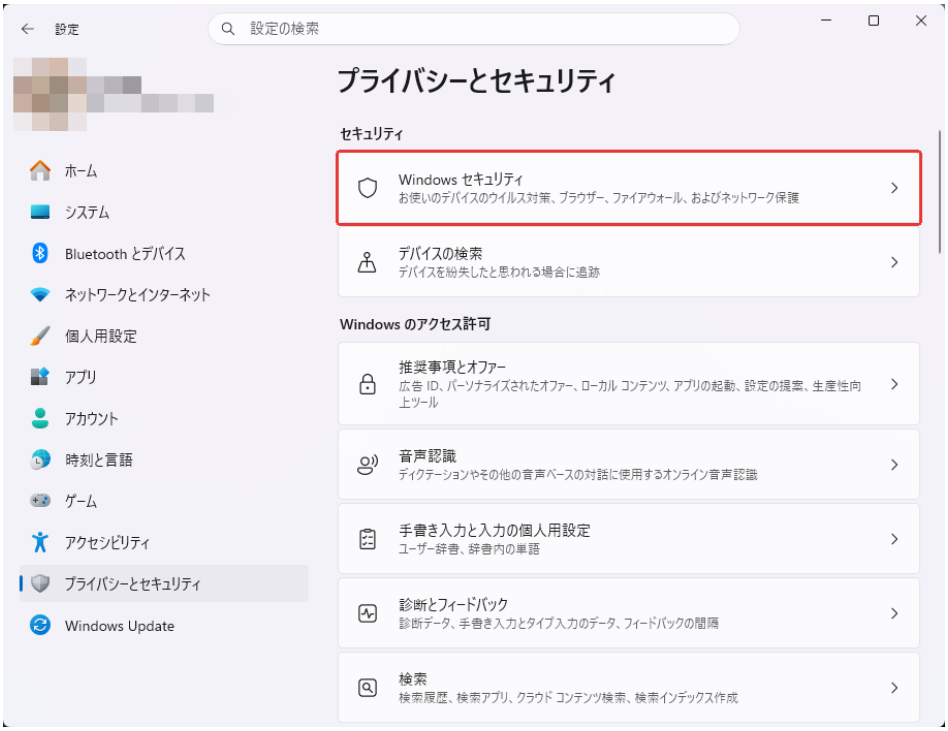


図 3　「プライバシーとセキュリティ」→「Windows セキュリティ」

3. 「アプリとブラウザーの制御」をクリックします。「Windows セキュリティ」の画面が開きます。

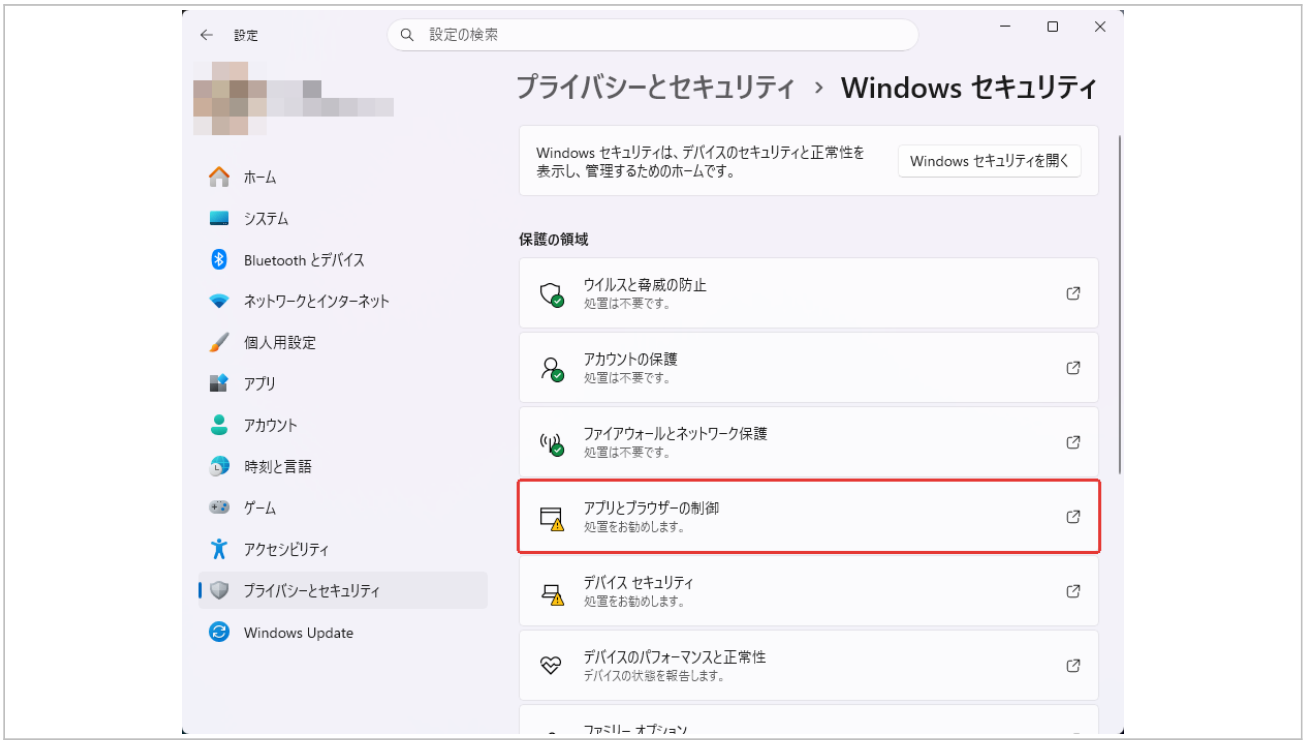


図 4　「アプリとブラウザーの制御」

4. 「スマート アプリ コントロールの設定」をクリックします。



図 5　「スマート アプリ コントロールの設定」

5. 現在の設定を確認します。**「オン」または「評価」になっている場合は、「オフ」を選びます。**
6. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合は「はい」をクリックします。
7. 「オフ」になったことを確認し、「Windows セキュリティ」の画面を閉じます。



図 6　「オフ」を選んだ状態

重要：本ソフトをお使いの間は「オフ」のままにしてください

インストール後にスマートアプリコントロールを「オン」に戻すと、本ソフトの一部のファイルがブロックされ、**本ソフトが起動直後に強制終了します。**

「評価」のままにしておくと、Windows が自動的に「オン」に切り替えることがあります。そのため「オフ」を選んでください。

スマートアプリコントロールはパソコンを保護するための機能です。オフにすることについては、お客様ご自身の判断で行ってください。会社のパソコンの場合は、社内の管理者にご相談ください。

3.3 「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合

インストーラーを実行したときに、青い画面で「Windows によって PC が保護されました」と表示されることがあります（Windows の SmartScreen という機能によるものです）。表示された場合は、次のように操作するとインストールを続けられます。

1. 画面の「詳細情報」をクリックします。
2. 発行元などが表示されたら、「実行」をクリックします。

4. インストール

インストールには **管理者の権限は必要ありません**。普段お使いの Windows のアカウントでインストールしてください。

4.1 インストールの手順

1. 3.1 で確認したフォルダの「BR-TTS-NNW_CV3_Setup_1.0.exe」をダブルクリックします。
2. 使用許諾契約書が表示されます。内容をお読みいただき、同意される場合は「同意する」を選んで「次へ」をクリックします。

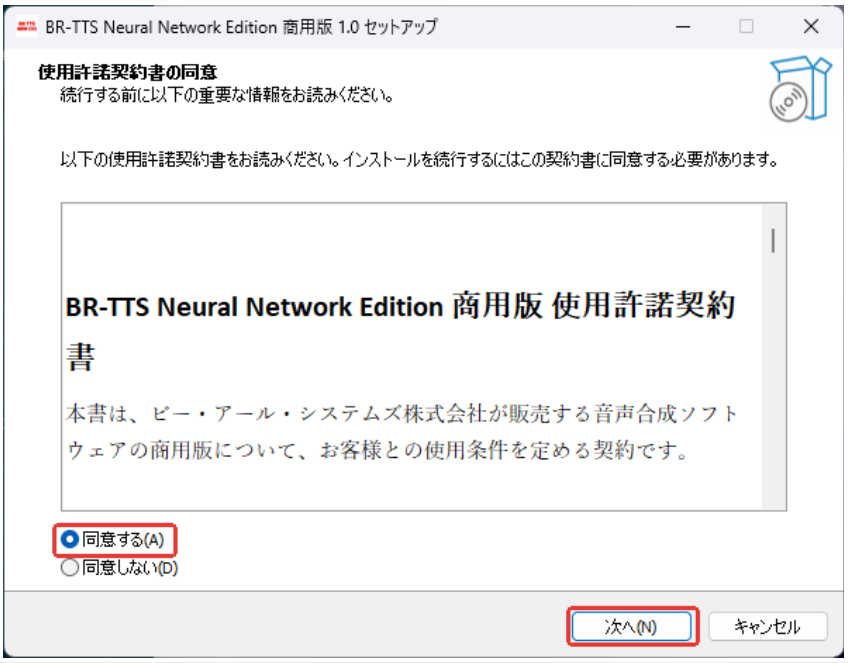


図 7　使用許諾契約書の同意

3. 初めてインストールする場合は、「インストール先の指定」と「スタートメニューフォルダーの指定」の画面が表示されます。**どちらも変更せずに**「次へ」をクリックします。
4. 「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックが入っていることを確認し、「次へ」をクリックします。

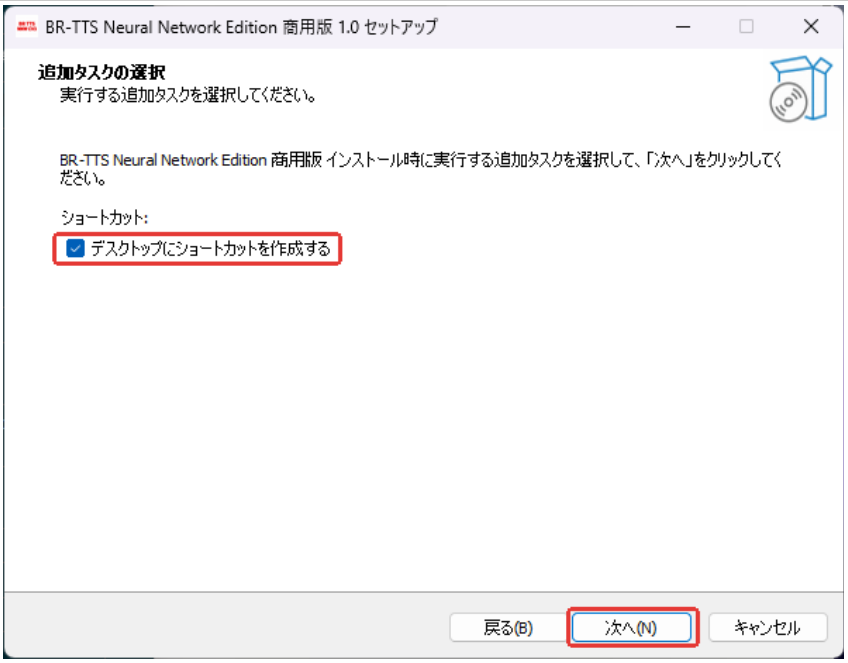


図 8　追加タスクの選択（デスクトップのショートカット）

5. 内容を確認し、「インストール」をクリックします。

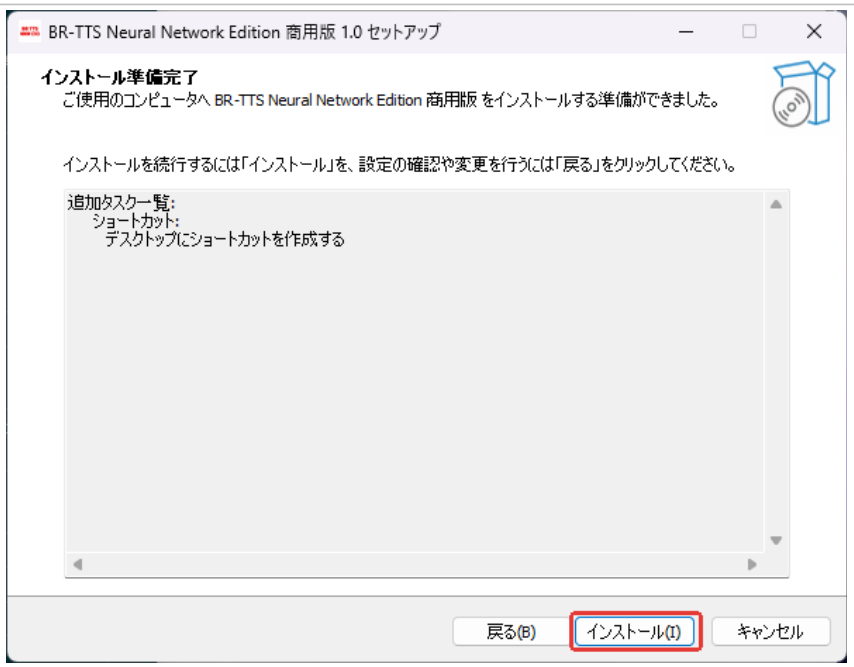


図 9　インストール準備完了

6. インストールが始まります。ファイルが大きいため、**3〜10 分程度**かかります（パソコンの性能により異なります）。完了まで、そのままお待ちください。
7. 「セットアップウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックします。すぐに使う場合は、「…を起動する」にチェックを入れてから「完了」をクリックすると、本ソフトが起動します。



図 10　セットアップウィザードの完了

4.2 インストールされるもの

場所	内容
デスクトップ	「BR-TTS Neural Network Edition 商用版」のショートカット
スタートメニュー	「BR-TTS Neural Network Edition 商用版」フォルダー （本ソフトの起動、使用許諾契約書、第三者ソフトウェアのライセンス、アンインストール）
インストール先	C:\Users\（ユーザー名）\AppData\Local\BRSystems\BR-TTS-NNW （本ソフト、モデル、ログ）

ポイント

本ソフトは、Windows のアカウント（ユーザー）ごとにインストールされます。1 台のパソコンを複数の人が別のアカウントで使う場合は、それぞれのアカウントでインストールが必要です。

インストール先は変更しないことをおすすめします。深い階層のフォルダに変更すると、インストールに失敗することがあります。

5. 起動と終了

5.1 起動する

1. デスクトップの「BR-TTS Neural Network Edition 商用版」をダブルクリックします（スタートメニューからも起動できます）。
2. 画面が表示され、画面下部に「モデル読み込み中…（経過 〇 秒…）」と表示されます。
3. 画面下部が「**準備完了**（デバイス: …）」になったら、音声を作成できます。



図 11　画面下部の表示（モデル読み込み中 → 準備完了）

画面下部の「デバイス」の表示	意味	読み込み時間の目安
cuda	NVIDIA の GPU で動作しています（高速）	15 秒〜1 分程度
cpu	CPU で動作しています	1 分前後〜数分

> **ポイント**
> 起動してから画面が表示されるまで、数秒〜十数秒かかることがあります。ダブルクリックを繰り返さず、そのままお待ちください。
>
> モデルの読み込み中も、文章の入力や参照音声の選択はできます。「音声合成」ボタンは、準備完了後に押せるようになります。

5.2 終了する

画面右下の「EXIT」ボタン、または画面右上の「×」をクリックします。音声の作成中に終了しようとすると、確認のメッセージが表示されます。

> **注意**
> 保存していない音声は、終了すると失われます。必要な音声は、終了する前に「名前を付けて保存」で保存してください（7.1 の手順 8）。

6. 画面の説明



図 12　メイン画面（起動直後）

番号	名前	説明
1	合成するテキスト	読み上げる文章を入力します。複数の文や、改行を含む文章も入力できます。
2	辞書による自動修正を適用	チェックを入れると、当社の辞書で数字の読み方や誤読しやすい言葉を修正してから読み上げます（通常はチェックを入れたままお使いください）。
3	変換後プレビュー	上段に辞書で修正した後の文章、下段に実際に読み上げる発音（カタカナ）が表示されます。読み方が正しいかを、音声を作る前に確認できます。

番号	名前	説明
4	参照音声サンプル「選択」	お手本にする声の録音ファイル（参照音声）を選びます。選んだファイルの名前・長さが左側に表示されます。
5	同意の確認	参照音声の話者ご本人の同意（または利用する権利）があることを確認し、チェックを入れます。チェックが無いと音声を作成できません。
6	音声合成	音声の作成を始めます。作成中は「合成中…」と表示されます。
7	進み具合	音声の作成の進み具合（何文目まで終わったか、経過秒数）が表示されます。
8	再生速度	「再生」で聞くときの速さを 0.5〜2.0 倍で変えられます。**保存される音声の速さは変わりません。**「1.0x に戻す」で元の速さに戻ります。
9	操作ボタン	「再生」：作成した音声を聞きます 「停止」：再生を止めます 「名前を付けて保存」：作成した音声を WAV ファイルで保存します 「ログ表示」：操作の記録を表示します（8 章） 「監査ログを開く」：音声の作成記録を開きます（8 章） 「EXIT」：本ソフトを終了します
10	状態表示	モデルの読み込み状況、作成・再生・保存の状態などが表示されます。

7. 音声を作る

7.1 基本の手順

1. 画面下部が「準備完了」になっていることを確認します。
2. 「合成するテキスト」の欄に、読み上げる文章を入力します（ほかのアプリからの貼り付けもできます）。
3. 「変換後プレビュー」で、読み方（カタカナ）が正しいかを確認します。
4. 参照音声サンプルの「選択」をクリックし、お手本にする声の音声ファイルを選びます（7.2 の条件を参照）。
5. 「参照音声の話者本人の同意（または利用する権利）があることを確認しました」にチェックを入れます。
6. 「音声合成」をクリックします。作成が終わると「音声合成が終了しました」と表示されるので、「OK」をクリックします。
7. 「再生」をクリックして、音声を確認します。必要に応じて再生速度を変えて聞くことができます。
8. 「名前を付けて保存」をクリックし、保存する場所とファイル名を指定して保存します。

> **ポイント**
> 保存されるファイルは WAV 形式（24kHz、モノラル）です。ファイル名の初期値は「brs_cv3_日付_時刻.wav」です。
> 参照音声と保存の場所は、次回も同じフォルダが最初に表示されます。
> 作成にかかる時間は、文章の長さとパソコンの性能によって変わります。GPU の無いパソコンでは、短い文でも数十秒以上かかることがあります。

7.2 参照音声の条件

作成される声の品質は、参照音声の品質に大きく左右されます。次の条件を満たす音声をお使いください。

項目	条件
ファイル形式	WAV（推奨）、FLAC、MP3、OGG
長さ	**5〜15 秒程度を推奨** 3 秒未満：声の再現度が下がる可能性があります（警告が表示されます） 15 秒を超える：使えますが、作成に時間がかかります **30 秒を超える：使えません**（短く切り出してから選び直してください）
サンプリング周波数	**24kHz 以上を推奨**（44.1kHz・48kHz も可） 16kHz 以上 24kHz 未満：使えますが、こもった音になりやすくなります **16kHz 未満：使えません**

項目	条件
録音の内容	1 人だけが話している、雑音・音楽・反響の少ない、はっきりした話し声

条件に合わない音声を選ぶと、内容に応じたメッセージが表示されます。メッセージに従って、音声を録音し直すか、切り出し直してから選び直してください。

7.3 文章の入力のコツ

- 文章は「。」「！」「？」で区切られ、1 文ずつ順に作成されます。文と文の間には、短い間（0.25 秒）が入ります。
- **とても長い文は、句点（。）で区切ってください。** 句点の無い長い文は、作成に時間がかかり、GPU のメモリを多く使います。
- 読み方が正しくない場合は、「変換後プレビュー」の下段（カタカナ）を見ながら、ひらがな・カタカナで書き直すなどして調整してください。
- 記号のうち「、」「。」「！」「？」は区切り（間）として使われます。その他の記号は読み上げられません。

8. ログと監査ログ

8.1 ログ（操作の記録）

「ログ表示」をクリックすると、起動・音声の作成・保存などの記録が別の画面に表示されます。エラーが起きたときの確認に使います。

8.2 監査ログ（音声の作成記録）

本ソフトは、音声を作成したとき・保存したときに、その記録を **監査ログ（CSV ファイル）** に自動で追加します。「監査ログを開く」をクリックすると、Excel などで開きます（まだ記録が無い場合は「まだ記録がありません」と表示されます）。

列の名前	記録される内容
timestamp	記録した日時
raw_text	入力した文章
processed_text	辞書で修正した後の文章
katakana_text	読み上げた発音（カタカナ）
reference_wav	参照音声のファイルの場所
reference_sha256	参照音声のファイルを識別する値（ファイルが同じものかを後から確認するため）
consent_confirmed	同意の確認のチェック（yes / no）
duration_sec	作成した音声の長さ（秒）
engine	音声合成に使ったモデルの名前
saved_path	保存したファイルの場所（作成しただけで保存していない記録は空欄）

監査ログの取り扱い

監査ログは、作成した音声が適切に作られたことを後から確認するための記録です。**削除・編集しないでください。**

Excel で開いている間も本ソフトは記録を追加しようとします。確認が終わったら Excel を閉じてください。Excel で上書き保存すると、記録の形式が変わることがあります。

監査ログ・ログは、インストール先の「logs」フォルダにあります（C:\Users\（ユーザー名）\AppData\Local\BRSystems\BR-TTS-NNW\logs）。

logs フォルダのファイル	内容
audit_log_cv3_single.csv	監査ログ（音声の作成記録）
br_cv3_gui_single_日付.log	操作の記録（「ログ表示」の内容）

logs フォルダのファイル	**内容**
console_日付.log	本ソフトの内部の動作記録（エラーの調査用）

9. 辞書の更新・アップデート・アンインストール

9.1 辞書を更新する

当社から辞書の更新ファイル（text_preprocessing.py）が提供された場合は、次の手順で更新します。再インストールは不要です。

1. 本ソフトを終了します。
2. エクスプローラーのアドレス欄に %LOCALAPPDATA%\BRSystems\BR-TTS-NNW と入力して Enter キーを押し、インストール先のフォルダを開きます。
3. 提供された text_preprocessing.py を、このフォルダに上書きでコピーします。
4. 本ソフトを起動します。

9.2 新しいバージョンにアップデートする

新しいバージョンのインストーラーを、4 章と同じ手順で実行してください。現在のバージョンに上書きでインストールされます。監査ログ・ログはそのまま引き継がれます。アンインストールする必要はありません。

9.3 アンインストールする

1. 本ソフトを終了します。
2. 「設定」→「アプリ」→「インストールされているアプリ」を開きます。
3. 一覧から「BR-TTS Neural Network Edition 商用版」を探し、右側の「…」→「アンインストール」をクリックします。
4. 確認のメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。

スタートメニューの「BR-TTS Neural Network Edition 商用版」フォルダーにある「BR-TTS Neural Network Edition 商用版 のアンインストール」からも実行できます。

> ポイント
> **監査ログ・ログ（logs フォルダ）は、記録として残すため、アンインストールしても削除されません。** 不要になった場合は、記録の保管が必要ないことを確認してから、インストール先のフォルダごと手動で削除してください。
>
> アンインストールした後は、3.2 でオフにしたスマートアプリコントロールを「オン」に戻すことができます（ほかのアプリへの影響がないかご確認ください）。

10. 困ったときは

10.1 インストールのとき

症状・表示	原因と対処
インストーラーを実行すると「スマート アプリ コントロールが安全でない可能性のあるアプリをブロックしました」と表示され、インストールできない（図 2）	スマートアプリコントロールが「オン」になっています。3.2 の手順で「オフ」にしてから、もう一度実行してください。
「Windows によって PC が保護されました」と表示される	3.3 の手順で「詳細情報」→「実行」をクリックしてください。
インストールの途中で、ディスクの挿入を求めるメッセージが表示される	.bin ファイルが欠けているか、別のフォルダにあります。8 個のファイルをすべて同じフォルダに入れてから、もう一度実行してください（3.1）。
ディスクの空き容量が足りないと表示される	約 16GB の空き容量が必要です。不要なファイルを削除してから、もう一度実行してください。

10.2 起動・使用のとき

症状・表示	原因と対処
起動してもすぐに終了してしまう	スマートアプリコントロールが「オン」に戻っている可能性があります。3.2 の手順で「オフ」にしてください。
「モデルの読み込みに失敗しました」と表示される	インストールが正しく完了していない可能性があります。本ソフトをアンインストールし、もう一度インストールしてください。
「準備完了」になるまでとても時間がかかる・パソコン全体が重くなる	メモリ（RAM）が不足しています。ほかのアプリを閉じてからお使いください。メモリが 16GB 未満のパソコンは動作環境を満たしていません（2 章）。
「合成エラー」と表示され、「CUDA out of memory」などの文字が含まれている	GPU のメモリが不足しています。ほかのアプリ（特にゲーム・動画編集・ブラウザーのタブ）を閉じてから、もう一度お試しください。文章を句点（。）で短く区切ると改善することがあります。
「音声合成」ボタンが押せない	モデルの読み込み中です。画面下部が「準備完了」になるまでお待ちください。
「参照音声サンプルを選択してください」と表示される	参照音声サンプルの「選択」で、音声ファイルを選んでください（7.1）。

症状・表示	原因と対処
「…同意（または利用する権利）を確認し、チェックを入れてください」と表示される	同意の確認のチェックを入れてください（6 章の 5）。
「このファイルは読み込めません」と表示される	対応していない形式、または壊れたファイルです。WAV 形式（モノラル、24kHz 以上、16bit）で保存し直してから選び直してください。
参照音声の長さ・サンプリング周波数についてのメッセージが表示される	7.2 の条件に合うように、録音し直すか、切り出し直してください。
読み方が正しくない	「変換後プレビュー」で発音を確認し、ひらがな・カタカナで書き直すなどして調整してください（7.3）。
「再生」で音が出ない	Windows の音量・出力先（スピーカー／ヘッドホン）の設定を確認してください。
GPU があるのに、「デバイス: cpu」と表示される	NVIDIA 以外の GPU では CPU で動作します（2 章）。NVIDIA の GPU の場合は、NVIDIA のドライバを最新版に更新してください。

上記で解決しない場合は、11.2 のお問い合わせ先にご連絡ください。その際、インストール先の logs フォルダにある「console_日付.log」と「br_cv3_gui_single_日付.log」を添付していただくと、原因の調査がスムーズです（監査ログには入力した文章が含まれるため、必要な場合のみお送りください）。

11. 使用許諾契約・お問い合わせ

11.1 使用許諾契約と第三者ソフトウェアのライセンス

- 本ソフトのご使用には、インストール時に同意いただいた**使用許諾契約書**が適用されます。スタートメニューの「使用許諾契約書」から、いつでも確認できます。
- 本ソフトには、第三者が開発したソフトウェア（オープンソースソフトウェアなど）が含まれています。それらのライセンスは、スタートメニューの「第三者ソフトウェアのライセンス」（THIRD_PARTY_NOTICES.txt）で確認できます。

11.2 お問い合わせ

項目	内容
会社名	ビー・アール・システムズ株式会社
お問い合わせ窓口	技術部
メールアドレス	info@brsystems.jp
電話番号	0467-40-4318
受付時間	平日 10:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）

お問い合わせの際は、製品名・バージョン（1.0）・お使いのパソコンの OS・メモリ・GPU、発生した症状とメッセージの内容をお知らせください。